

■ 宮本勝浩 関西大学名誉教授が推定 ■ 2025 年の大谷選手の経済効果は、 約 1,302 億 8,573 万円

このたび関西大学 宮本勝浩名誉教授が、2025 年の大谷選手の経済効果を分析したところ、約 1,302 億 8,573 万円となりました。

宮本名誉教授は、「2025 年のドジャースにおける大谷選手の経済効果は約 1,302 億 8,573 万円という空前絶後の金額になった。大谷選手の非常に大きな経済効果は、一人のアスリートの活躍結果であるというようなレベルのものではない。大谷選手がコマーシャルに出演している企業数は非常に多く、その企業が信頼を高めて、それらの企業の品物やサービスを購入するという一つの大きな『社会現象』が発生し、経済効果を拡大しているのである。私たちは大谷選手と同じ時代に生きて、この世界的アスリートの活躍を見ることができると感謝すべきであろう。」と述べています。

分析結果について、別紙資料にて紹介いたします。

【資料概要】

- 1 テーマ 2025 年の大谷選手の経済効果
- 2 発表者 関西大学名誉教授 宮本 勝浩
- 3 発表日 2025 年 10 月 1 日（水）
- 4 内 容 I. はじめに
II. 大谷選手の経済効果とは
III. 大谷選手の直接効果
IV. 2025 年の大谷選手の経済効果
V. まとめ

以 上

※推計方法および分析結果の無断転載・無断転用の防止のため、ウェブサイトには詳細資料を掲載していません。報道機関でご入用の方は、関西大学広報課（kouhou@ml.kandai.jp）まで資料請求くださいますようお願いいたします。

※分析結果からデータなどを引用される場合は、その旨付記してください。

※本発表は報道資料として発表しております。資料提供元との取り決め等により、報道機関以外の方への資料提供は行っておりませんので、ご了承くださいますようお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：明原、伊地知、小林

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 Tel.06-6368-1131 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

■ プロフィール <宮本 勝浩（みやもと・かつひろ）>

- 【生年月日】 1945（昭和 20）年 1 月 12 日（80 歳） 【本 籍】 和歌山県
- 【学 歴】 大阪大学 大学院経済学研究科修士課程修了 経済学博士（神戸大学）
- 【職 歴】 大阪府立大学経済学部教授、経済学部長、副学長歴任後、2006 年 4 月より関西大学大学院会計研究科教授。2015 年 3 月に定年退職し、現在は関西大学名誉教授。
この間、アメリカ合衆国インディアナ大学、ハーバード大学、上海同済大学、南京理工大学、ロシア極東国立商科大学などの客員研究員や客員教授を歴任
- 【専門分野】 国際経済学（移行経済論）、理論経済学、経済効果分析
- 【著 書】 『大阪経済学』（共著）経営書院、『移行経済の理論』中央経済社、
『経済効果ってなんだろう？』中央経済社、『プラス思考の経済効果』清文社 など
- 【公 職】 （元）財務省財政制度等審議会臨時委員、（元）総務省情報通信行政・郵政行政審議会委員、
（元）大阪広域水道企業団経営・事業評価委員会委員長、
公益財団法人大阪府市町村振興協会理事、公益信託泉州地域振興基金運営委員会委員長 など
- 【賞 罰】 2019 年度和歌山県文化功労賞受賞、2021 年度和歌山市文化賞受賞、2024 年瑞宝小綬章受賞。
- 【業 績】
- 2005 年 「阪神優勝の経済効果」、「セパ交流戦の経済効果」等を発表
- 2006 年 「2008 年大阪サミット誘致の経済効果」、「ディーブインパクトの経済効果」等を発表
- 2007 年 「世界陸上・大阪大会の経済効果」、「シャープの堺市への液晶工場進出の経済効果」等を発表
- 2008 年 「くだおれ人形の経済波及効果」、「三毛猫『たま駅長』の経済波及効果」等を発表
- 2009 年 「WBC の経済波及効果」、「タバコ値上げの経済効果」、「奈良県桜井市の邪馬台国遺跡発見の経済波及効果」等を発表
- 2010 年 「奈良の大仏の建造費用」、「大阪マラソンの経済波及効果」、「USJ10 周年の経済波及効果」等を発表
- 2011 年 「上野動物園のパンダ リーリーとシンシンの経済効果」、「東京ディズニーシー開園 10 周年の経済効果」等を発表
- 2012 年 「大阪マラソンの経済波及効果の検証」、「USJ 今後 10 年間の経済波及効果予測」等を発表
- 2013 年 「あべのハルカスグランドオープンの経済波及効果」、「街コン」の経済波及効果、「東北楽天ゴールデンイーグルス優勝の経済波及効果」等を発表
- 2014 年 「田中将大投手のヤンキース入団の経済波及効果」、「大阪道頓堀のグリコの新電光看板の経済波及効果」等を発表
- 2015 年 「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の経済波及効果」、「又吉直樹氏の『火花』の経済効果」等を発表
- 2016 年 「ネコノミクスの経済効果」、「四国八十八ヶ所お遍路さんの経済効果」、「平成 28 年夏の甲子園全国高校野球の経済効果」、「SMAP 解散で失われる経済効果」、「2016 年広島東洋カープ優勝の経済効果」等を発表
- 2017 年 「2017 年 WBC 優勝の経済効果」、「第 89 回春の選抜高等学校野球大会の経済効果」、「上野動物園パンダの赤ちゃん誕生の経済効果」、「2017 年広島カープ優勝の経済効果」等を発表
- 2018 年 「せんとかんの経済効果」、「日本のお花見の経済効果」、「広島カープ優勝の経済効果」等を発表
- 2019 年 「GW10 連休の経済効果」、「埋蔵携帯の総価値額 2019 年版」、「インフルエンザによるマイナスの経済効果」等を発表
- 2020 年 「新型コロナの影響により失われるお花見の経済効果」、「祇園祭山鉦巡行中止による経済的損失」、「請求書の電子化による経済効果」、「東京五輪の中止・延期・簡素化による経済的損失」等を発表
- 2021 年 「東京五輪の無観客開催、海外観戦者制限による経済的損失」、「コロナ禍のネコノミクスとイヌノミクス」、「エンゼルス・大谷翔平選手の経済効果」、「埋蔵携帯の価値 2021」、「アスリートを称えるセールの経済効果」、「東京オリンピック・パラリンピックの経済効果と赤字額」、「2020 年新型コロナにより失われた訪日外国人の経済効果」、「オリックス優勝による経済効果」、「日本ハムファイターズ・新庄監督の経済効果」、「大谷翔平選手 MVP の経済効果」等を発表
- 2022 年 「恵方巻きをはじめとする『節分の寿司』の経済効果と損失額」、「2022 年コロナ禍のネコノミクス」、「2022 年お花見の経済効果」、「2022 年ゴールデンウィーク旅行の経済効果」、「東京スカイツリー 10 周年の経済効果」、「2022 年祇園祭の経済効果」、「日本経済活性化のカギ～働く世代のビジョンの明確化」、「2022 年の大谷翔平選手の経済効果」、「2022 年度の市民マラソンの経済効果」、「2022 年『ぎふ信長まつり』の経済効果の検証」、「日本ハムファイターズ新球場の経済効果」、「2023 年初詣の経済効果」等を発表
- 2023 年 「バレンタインのチョコレートの経済効果」、「2023WBC 優勝の経済効果」、「飛鳥ハーフマラソンの経済効果」、「2023 年のお花見の経済効果」、「G7 広島サミット 2023 の経済効果」、「2023 年祇園祭の経済効果」、「藤井聡太棋士が八冠を獲得した時の経済効果」、「女性の IT 人材増加による経済効果」、「埋蔵携帯の価値 2022」、「2023 年花火大会の経済効果」、「阪神タイガース 2023 年『アレ』の経済効果」、「2023 年日本シリーズ 関西ダービーの経済効果～阪神対オリックス」、「山本由伸選手の大リーグ入団の経済効果」、「ドジャース移籍による 2024 年の大谷翔平選手の経済効果」等を発表
- 2024 年 「2024 年の恵方巻き等の経済効果と食品ロス」、「2024 年のネコノミクス」、「2024 年お花見の経済効果」、「2024 年ドジャースにおける大谷選手の経済効果」、「イベントの経済効果と成功・不成功の評価」、「2024 年祇園祭の経済効果」、「観光立国日本への再出発～2024 年訪日観光客の旅行消費額の推計」、「社会現象としての 2024 年の大谷選手の経済効果」、「ふるさと納税の経済効果」「曲がり角にきた市民マラソン大会の経済効果」「2025 年初詣の経済効果」、「『JUNGLIA』の開園後 15 年間の経済波及効果」、「2025 年バレンタインチョコの経済効果」、「2025 年のネコノミクス」、「2025 年お花見の経済効果」等を発表
- 2025 年 「白浜アドベンチャーワールドのパンダの経済効果」、「2025 年阪神タイガース優勝の経済効果」、「ふるさと納税の経済効果」等を発表